

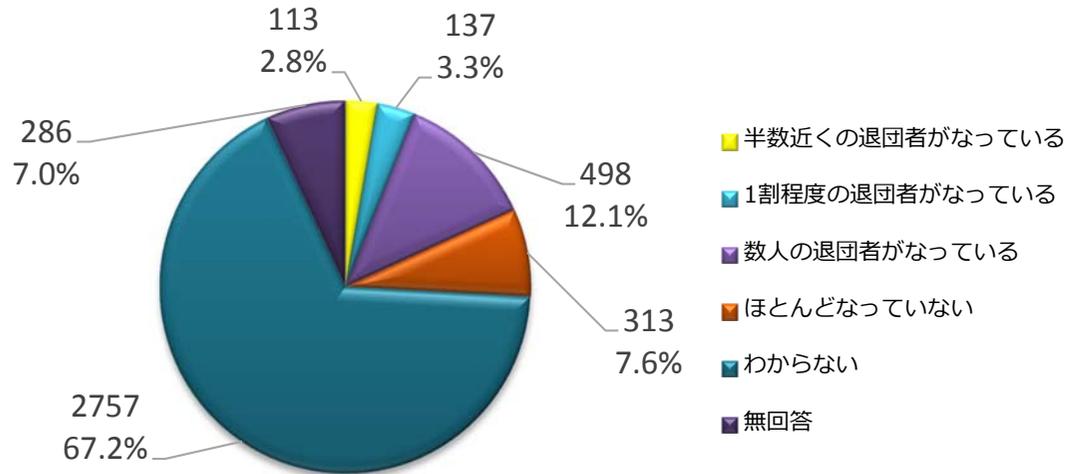
第1回「消防団員の確保方策等に関する検討会」におけるご質問等について

- 1) 少年消防クラブからの消防団への入団の実態 ⇒ P1
- 3) 消防団の知名度向上
- ・ 「消防に関する特別世論調査」等 ⇒ 資料2-2、資料2-3
 - ・ 「消防団加入促進キャンペーン」 ⇒ P2
 - ・ 「女性や若者をはじめとした
消防団加入促進支援事業」事業例 ⇒ P3

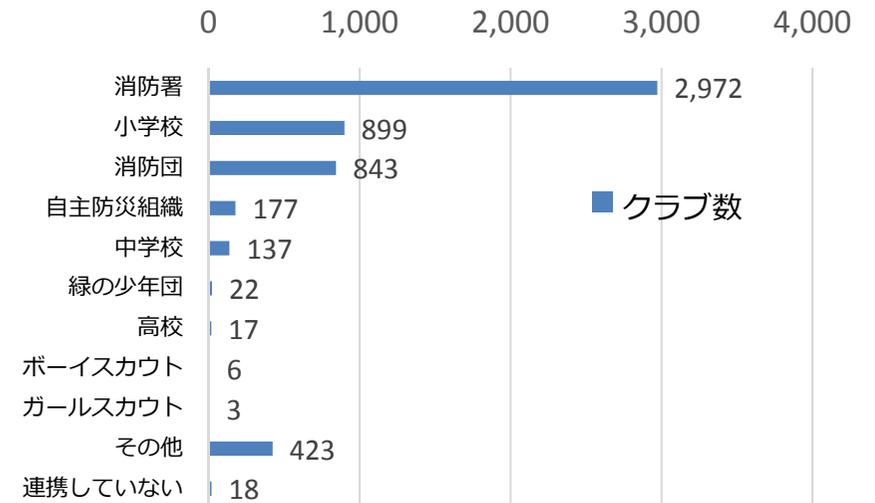
少年消防クラブから消防団への入団の実態

1. 消防団員になる少年消防クラブOB・OGの状況（※1）

※ 退団者（OB・OG）が、どの程度消防団員になっているか。（計4,104クラブ）

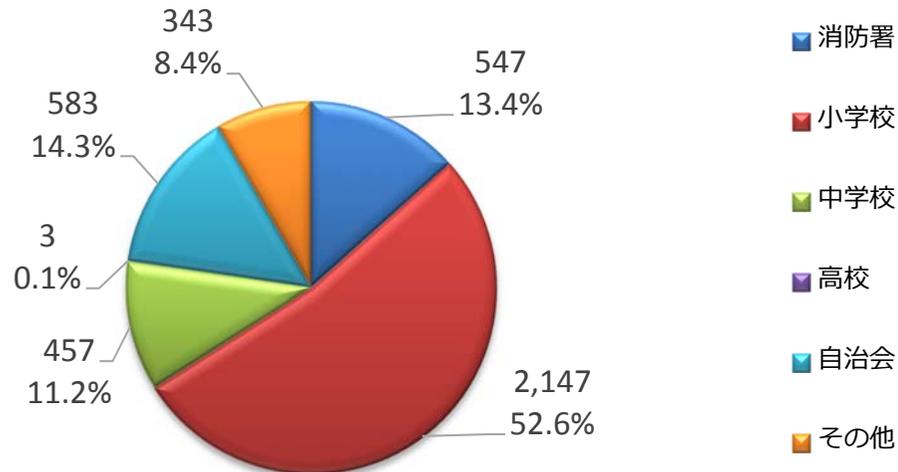


3. 協力・連携している機関（※2）



2. 少年消防クラブを所管する組織（※2）

※ 少年消防クラブを所管する組織はどのようなものか。（計4,080クラブ）



【参考】徳島県阿波市の例（※3）

○ 徳島県阿波市土成中学校少年少女消防隊

- ・ 土成町の消防団員は190名程度。
- ・ 少年少女消防隊の出身者は8割を占める。
- ・ 地域の消防署長や阿波市消防団団長も出身者。

（※ 平成28年時点）

※1 「青少年消防組織のあり方に関する研究会」中間報告（平成20年3月）
 ※2 「少年消防クラブの充実強化に関する検討会」報告書（平成22年3月）
 ※3 「少年消防クラブ活動事例集（少年消防クラブ活性化推進会議 発行）」

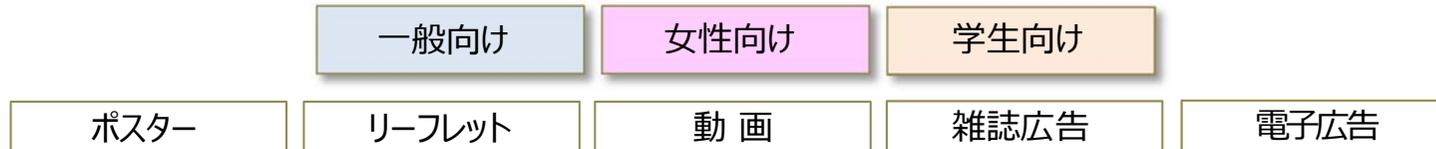
「消防団入団促進キャンペーン」

1. 趣旨

毎年度、1月から3月までの間を「消防団入団促進キャンペーン」期間と位置づけ、地方公共団体等と連携し、消防団員の入団促進に係る広報の全国的な展開を図る。

2. キャンペーンツール

◎ 訴求対象を3つのカテゴリーに分けて、それぞれに届きやすい訴求を行う



※ ポスターやリーフレットには、「学生消防団活動認証制度」（消防団員として活動した学生に対し、認証証明書を交付するもの）等の説明を記載

※ 消防団員を起用した動画を作成し、YouTube等の動画配信サイトで配信するとともに、DVDとして各地方公共団体へ配布

3. 平成28年度キャンペーンの例

コンセプト

実は、私(たち)でも、できるんだ！
+
みんなも兼業でやってるんだ！

わたし
じつは
消防団員。

〈ポスター等〉
ターゲットが共鳴しやすい
実在の消防団員の日常と
団員のギャップのある姿を
広告的に見せる。



「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」 事業例

○ラジオ放送を利用した消防団加入促進事業/青森県八戸市

概要 : FMラジオの番組やCMに団員が出演し、消防団やその取組、消防団員であることの魅力・やり甲斐などを話し、消防団をPR。入団促進を図る。

委託額 : 1,971千円

期間 : H27年7月～H28年2月



○シネマコンプレックスでの消防団PR事業/三重県四日市市

概要 : 市内のシネマコンプレックスにおいて、消防団PR映像を放映し、女性や若者をはじめ幅広い層に対し広くPRを実施。消防団活動への理解を深め入団促進を図る。

委託額 : 497千円

期間 : H27年7月～H28年2月

・現役の消防団員とその家族が出演する、家族の思いを描いたストーリー性のあるPR映像を制作し、市内のシネマコンプレックスにて放映

・制作したPR映像は市消防本部でも映像配信



○消防団応援プロジェクト/群馬県

概要 : 若者にターゲットを絞った消防団PRを様々な媒体を通じて実施。多くの若者に消防団を知ってもらい入団促進を図る。

委託額 : 2,275千円

期間 : H27年7月～H28年2月

・群馬県マスコットを活用した、高校や新成人向けの消防団PRリーフレットの作成

・群馬県内各路線の電車内に消防団員募集の中吊り広告を掲載

・県内最大のシネマコンプレックスにおいて、消防団員募集CM (15秒) をすべての映画上映前に放映



○ガイナレ鳥取と消防団の連携事業/鳥取県

概要 : 鳥取県をホームとする地域密着県のJリーグクラブ「ガイナレ鳥取」と地元消防団が連携し、ホームゲーム等で消防団PR事業を実施。幅広く消防団への理解と入団促進を図る。

委託額 : 2,500千円

期間 : H27年7月～H27年11月

・スペシャルマッチを開催し、試合前に消防団紹介イベントを実施したほか、消防団PR看板を設置

・少年消防クラブ員による選手入場のエスコートやフラグキッズ

・ガイナレ鳥取とコラボレーションし消防団応援PRを目的にバナー広告を作成

・ホームゲームに消防団員やその家族を招待

